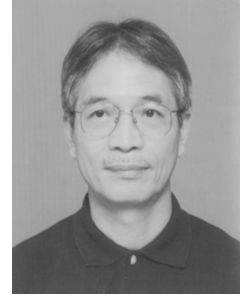


順天堂大学スポーツ健康科学部における 実践的キャリアトレーニング・プログラム

野川 春夫

順天堂大学スポーツ健康科学部
スポーツマネジメント学科 教授



要 約

「実践の学問」を標榜する順天堂大学は、保健体育学領域において専門性の高い保健体育指導者の育成を目的とした実習科目の充実に関し、開学当初から取り組んできた。しかしながら、これらのプログラムは事前・事後学習を含んでも時間数が決められており、現場の概要を把握するレベルに止まる実習 (practicum) の域を抜け出すことはなかった。

1993年に学部改組を行い、自然科学領域を重視してきた体育学部には社会科学分野のスポーツマネジメント学科を加え、スポーツ科学科と健康学科の3学科体制とし、学部名称もスポーツ健康科学部とした。

他大学が社会体育実習やインターンシップを積極的に導入しているのに対し、後追いの順天堂大学は2003年度からようやくスポーツ科学科とスポーツマネジメント学科にインターンシップを開講した。スポーツ科学科では、「コーチングインターンシップ」が3年次に開講され、主に中学や高校の部活動の補助指導という立場で、スポーツ競技の指導実践を通して当該競技の理解を深め、コーチング法と集団統率力のノウハウを高めている。指導形式は、合宿などでの集中指導形式と、毎週決められた回数指導に通う定期指導形式のどちらかを学生が選べるようになっている。半期1単位の学外実習であるが、運動部活動に加入している学生が大半を占めるため、定期指導形式がなかなか定着しない悩みを抱えている。

スポーツマネジメント・インターンシップは、希望学生のみが履修する選択必修科目となっている。対象学年は、2年次と3年次で半期1単位の学外実習である。学科の専任教授4名が、各自の強い領域 (イベント系、メディア系、メーカー系、プロチーム系、フィットネスビジネス系) を担当している。イベント系は、スポーツイベントの企画・運営などの企業や広告代理店である。メディア系は、TV、新聞、ラジオ、雑誌、出版社などである。メーカー系は、スポーツ用品・用具の製造業や販売業である。プロチーム系は、学生に人気のJリーグのチームやプロ野球の球団などである。そして、フィットネスビジネス系は、商業スポーツクラブや公共スポーツ施設などが代表的である。但し、学生たちにとって華のある業種はいつの時代も人気があるが、業務内容をきちんと理解していない場合が多々見受けられるので、事前指導・プレ研修などを充実させる必要がある。

キャリアトレーニングの一環として重要視されるスポーツマネジメント・インターンシップであるが、各学生の希望先を確実に確保することが難しく、事務的な諸手続などが非常に煩雑で、人的・財的な手当てが大変であるという各大学共通の問題を抱えている。インターンシップ先の選定、業務内容・勤務内容の交渉、事前トレーニング、教員の挨拶回り、評価関連 (実習ノートと評価法等)、事後教育など多くの課題への取り組み不可欠である。